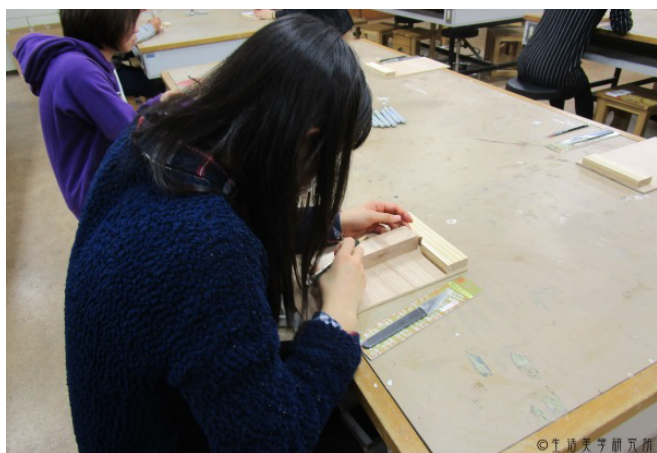


お知らせ

美研工房 1 日目 ―木製のスプーン―

美研工房とは、日頃研究所でしている研究内容を学生に還元するために今年度から武庫川女子大学特別学期特別教育科目として講義をしました。本研究所の助手である前川多仁（染織）、泊里涼子（木工）、和泉志穂（縫製）が講師となり、「木製スプーンとスプーンケースをつくってエコライフ」題し、2016年2月15日（月）～17日（水）の3日間連続講義をしました。1日目の2月15日（月）は泊里涼子による木製スプーンを制作する実習をしました。

あらかじめ用意された3種類の木材（タモ・クルミ・チェリー）から1種類を選び、下書きをしていきます。上から見たスプーン、横から見たスプーンを書きます。スプーンのさじ部分を糸鋸で切ってもらい、彫刻刀で彫っていきます。堀り加減でスプーンの中に納まる量が変わります。



次は柄の部分糸鋸で切ってもらい、小刀で削っていきます。ベルトディスクサンダーという表面を削る機械で荒い部分を整えます。その後、2種類の紙やすりで削り整え、クルミ油で塗り、布で磨いて完成です。一人ひとりの個性が出る素敵なスプーンが出来上がりました。

